

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】H-68

申請日	2025/2/19	承認日	2025/3/10	委員長	印
レジメン登録日	2025/3/11	仮承認日		承認者	印

Dra(sc)Kd 3～6コース目	病名	多発性骨髄腫	血液内 科	医師名	Dr
-------------------	----	--------	-------	-----	----

対象 前治療歴を有する再発又は難治性の多発性骨髄腫

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール(日)																											
			1	4	5	8	10	11	15	20	22	25	30																	
ダラキューロ (ダラツムマブ・ ボルヒアルロニダーゼアルファ)	1800mg/Body	sc	○								○																			
カイプロリス (カルフィルゾ ミブ)	56mg/m ²	div	○	○			○	○			○	○																		
デキサード注 (デキサメタゾ ン)	☆20mg/Body	div	○	○			○	○			○	○																		
デカドロン錠 (デキサメタゾ ン)	☆40mg/Body	po																								○				

投与間隔・休薬期間等：28日＝1コース
 4コースまで
 その後、【H-69】 Dra(sc)Kd 7コース目以降へ移行する
 ダラキューロは2週に1回投与、カイプロリスはday1. 2. 8. 9. 15. 16投与
 ☆デキサメタゾンは週に40mg/body投与。76歳以上では週20mg/Bodyに減量

【投与処方例（前投薬など）】

Day1. 15

レスタミンコーワ錠10mg 4錠

カロナール500mg 2錠

モンテルカスト10mg 1錠

/po.ダラキューロ投与60分前

※モンテルカストは1コース目Day1のみ内服。それ以降はインヒューションリアクションがあれば使用。

Day1. 15

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液50mL＋☆デキサート注16.5mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液100mL /div 30分
- ④ メイン【赤-3】 5%ブドウ糖液100mL＋注射用水(溶解用)＋カイプロリス /div 30分
- ⑤ ダラキューロ /皮下注 5分(腹壁部周囲の推奨範囲に)

Day2. 8. 9. 16

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液50mL＋☆デキサート注16.5mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液100mL /div 30分
- ④ メイン【赤-3】 5%ブドウ糖液100mL＋注射用水(溶解用)＋カイプロリス /div 30分

Day22

☆デカドロン錠4mg 10錠(分1 朝食後)

【肝機能障害による減量基準】

※カイプロリス ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度・中等度)を有する患者の場合
初回および以降の用量を25%減量で投与

【腎機能障害による減量基準】

※カイプロリス $C_{cr} \leq 15 \text{ mL/min}$ は休薬
透析患者の場合は、透析後に 20 mg/m^2 投与

【☆デカドロンの減量基準】

75歳以下の患者	開始用量 40mg/Body/週として 1段階減量 20mg/Body/週 2段階減量 12mg/Body/週 3段階減量 8mg/Body/週
76歳以上の患者	開始用量 デカドロンを週20mg/Bodyに減量 Day1. 15. 22 ; デキサメタゾン20mg Day8 ; 12mg Day9 ; 8mg 1段階減量 12mg/Body/週 2段階減量 8mg/Body/週 3段階減量 中止

【副作用による減量基準】

※カイプロリス

血液毒性 (G3orG4)	好中球 $500/\mu\text{L}$ 以下、出血を伴うPLT3万/ μL 以下もしくはPLT1万/ μL 以下の場合 本剤を中止し、回復後、1段階減量で投与 標準投与量: $56\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 1\text{段階減量}: 45\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 36\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 27\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 20\text{mg}/\text{m}^2$
---------------	---

【検査等確認事項】

心臓に及ぼす影響	本レジメン開始前に心エコー・心電図検査、BNP、NT-proBNPの測定を実施
輸血に及ぼす影響	治療開始前に不規則抗体スクリーニング検査を含めた一般的な輸血前検査を実施すること。 不規則抗体を持たない患者でも偽陽性になることがあり、本剤治療中及び 最終投与から6ヶ月後まで続く可能性がある。

【注意すること】

ダラキューロは臍から左右に約7.5cmの腹部皮下に、15mLを5分かけて投与を行う
感染症への対策として、带状疱疹の予防で抗ウイルス薬・PCP予防でST合剤の内服を行う